

半導体業界のライオンズ・シエアーを目指して

凛然として神楽坂からの挑戦

アンカー・ビジネス・シス
テムズ(株) 代表取締役社長

永田 隆一



—57—

若者は、こぶしを握りあごを引き

ファイティングポーズを心の中で

亮太様
ブカレストより 雄介
……
ほう、雄介君は、ルー
マニアにいるのか。何の
為に、東欧へ行ったのだ
ろう。インターンで、ロ
シアン・パブによく連れ
て行ったが……。東欧
で唯一ルーマニアは、ラ
テン民族が多い。信じら
れない貧乏にあえぐ話を
は思いますが、二〇〇七
年の一月から、二〇〇八
年の一月までの一年で、
DRAMの価格は、六分
の一に下がってしまいま
した。NANDも三分の
一です。もう、日本国内で
は、半導体デバイスメー
カーの将来性の夢を描く
事が出来ません。経済合
理性から判断しても、日
本でのビジネス展開は難
いって、花が開かない典
型的な負け犬になる可能
性が高い。太陽電池だっ
て、今は年率三〇%で市
場拡大しているが、三年
後、五年後は分からない
よ。少し冷静になって考
え直してごらん』
最近、我慢の出来ない
若者が増えている。ただ
単に、有名大学を卒業し
ているだけで、実力は、
まったく伴っていないの
に、『もっと、自分に向
いている仕事があるはず
だ、友人達と同等の給料
をもらうことが出来る会
社があるはずだ』と他人
との比較だけで安易に判
断をする若者が多い。ど
んな企業や組織に属して
いても、しっかりとした
基礎的な実力を身につけ
る努力をしている人たち
もいる。語学の勉強もま
ったくせずに、『海外売
上比率六〇%以上のグロ
ーバル企業で働きたいの
です』と希望を述べる人
たちも。
しかし、体制に挑戦す
るのは、若者のエネルギー
であり、亮太は、決し
て嫌いではない。若者は、
環境に甘んじることな
く、コブシを握りしめて、
あごをひいて、ファイテ
ィングポーズを心の中で
とってほしい。かつて、
中江兆民は、自由民権運
動を展開するために、大
久保利通に面会を求めて
七度名刺をおいて帰る
が、すべて断られた。し
かし、八度目に大久保に
面会を許されたという。
若者の特権かもしれない
が、美しい。
……
芸妓が、むこうから歩
いてきた。『あら、亮太
さん、お店に寄っていつ
てよ』『〇〇姐さん、粹
(イキ)だね。俺は、帰
りだ』

一カ月に渡るインターンでは、誠にお世話になりました。

あの一カ月は、正直とても悩みました。やりきれない涙も沢山流しました。でも、人間は、なんと素敵なのだろうという感動の記憶が鮮明に残っています。亮太さんが紹介してくださった福嶋さんの『雄介君、悟るとい言葉があるだろう。人はね、悟る前は、木を切り、水を運ぶ。しかし、悟ったあとも木を切り、水を運ぶのだよ』という言葉に深く感動しました。奥が深すぎて盲く説

明はできませんが、そういう人生を生きていこうと思っっています。また、亮太さんが何度も話してくださった『雄介君、冒險しよう。僕達は、歴史を創っているのだ。チャレンジするしかないのだよ。それが、宿命と受け入れよう』この言葉の前向きなエネルギーには圧倒されました。何年か経って、亮太さんと二人で食事を一緒にさせていだきたく思います。その時に、もう少しだけ成長した私を見ていただきたく考えております。また、母もとても喜んでくれま

した。亮太さんは、かつて母の家庭教師をしてくださいったと聞きました。母は、亮太さんの話題になると、なんだか艶っぽい空気をかもし出します。が、武士の情けです。あえて深くは聞くことを致しません。
重ねて、お礼を申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

草々

『亮太さん、もうだめです。以前からお願いしているように、太陽電池関連企業への転職先を紹介してください。ご存知と

(つづく)